

VI 疾病対策課の業務概要

健康危機管理事業（感染症部門）

県民の生活・健康を脅かす健康危機管理事案の発生予防及び拡大防止のために、地域の関係機関との連携を図り、健康危機管理体制の整備と拡充に努めている。

また、事案の発生に備え、当センター職員、管内消防部門等を対象に、新型インフルエンザやエボラ出血熱等感染症発生を想定した个人防护具の着脱訓練、N95 マスクのフィットテスト等の研修会を開催した。また、JCHO 船橋中央病院、船橋市と合同で新型インフルエンザ患者搬送訓練を開催した。

1 結核予防事業

令和元年末現在の新登録患者数は、43 人で前年より 22 人減少しており、肺結核のうち喀痰塗沫陽性患者は 11 人であった。

罹患率は 8.9（人口 10 万対）、有病率は 5.0（人口 10 万対）であった。

結核予防対策について、結核の現状より早期発見、早期治療を推進するため、管内の医療機関等を対象に研修会を行った。

結核患者の治療の完遂を促し、多剤耐性菌の発生予防及び結核のまん延を防止することを目的に、個別患者支援計画に基づき DOTS（直接服薬確認療法）を中心とする患者支援を行っている。

結核専門医療機関との連携会議について、DOTS 会議においては、患者情報の共有と、患者管理及び患者の療養支援の推進を図った。

所内では、DOTS カンファレンスを毎月開催し、患者支援の徹底を図り、また、コホート検討会においては、治療成績や支援対策の評価と検討を行った。

(1) 管内結核患者登録者数の動向

表1 - (1) 登録者数の年次推移

(単位：人)

区分		年						
		平成 17年	平成 22年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年	令和 元年
管内人口		442,303	462,043	472,449	474,015	477,226	479,234	481,033
新登録患者数		96	69	75	82	77	65	43
年末時登録者数		235	172	179	165	198	231	160
結核死亡者数	管内	4	2	6	4	3	2	0
	千葉県	77	71	68	71	89	82	62
結核死亡率 (人口10万対)	管内	0.9	0.43	1.3	0.8	0.6	0.4	0
	千葉県	1.5	1.35	1.3	1.3	1.4	1.5	1.2
罹患率 (人口10万対)	管内	21.7	14.9	15.9	17.3	16.1	13.6	8.9
	千葉県	22.5	17.0	13.7	14.2	12.1	12.0	11.1
有病率 (人口10万対)	管内	16.3	13.6	9.9	10.1	10.1	6.9	5.0
	千葉県	17.2	11.9	9.0	9.1	7.5	7.7	6.9

(注) ①人口は各年10月1日千葉県常住人口による。

②千葉県のデータには千葉市を除く。

③新登録患者及び登録者数は、無症状病原体保有者・疑似症患者を除く。

④罹患率：新登録活動性結核患者数×10万/人口

有病率：年末時活動性結核患者数×10万/人口

(2) 新登録患者数

表1-(2) 新登録患者数(活動性分類別)

(単位：人)

区分 年 市町村	総 数	活 動 性 結 核					（ 罹 人 口 10 万 対 ） 率	肺結核のうち 塗抹陽性の 占める割合（%）	（潜在性結核感染症） 無症状病原体保有者 疑似症患者	の結核死亡者 体者	の結核死亡疑い 体者	
		活 動 性 肺 結 核		肺 活 動 性 結 核								
		計	陽性 性	喀痰塗抹 性	結核菌陽性 性	その他 性						その他 性
平成29年	77	62	29	22	11	15	16.1	46.8	25	-	3	-
平成30年	65	49	23	19	7	16	13.6	46.9	16	-	-	-
令和元年	43	34	11	18	5	9	8.9	32.4	37	-	-	-
習志野市	20	16	4	8	4	4	11.5	25.0	15	-	-	-
八千代市	13	9	2	7	-	4	6.6	22.2	14	-	-	-
鎌ヶ谷市	10	9	5	3	1	1	9.1	55.6	8	-	-	-

(3) 年末時登録者数 (活動性分類別)

表1-(3) 年末時登録者数(活動性分類別)

(単位：人)

区分 年 市町村	総 数	活 動 性 結 核						不 活 動 性 結 核	不 明	（ 有 人 口 10 万 対 ） 率	（別掲） （潜在性結核感 染症）				
		計	計	陽性 性	喀痰塗抹 性	登録 時	結核菌陽性 性				登録 時	登録 時	肺活 動性 結核 性	治 療 中	観 察 中
平成29年	198	48	38	21	12	5	10	70	80	10.1	15	61			
平成30年	231	33	24	11	8	5	9	20	178	6.9	11	52			
令和元年	160	24	21	7	8	6	3	23	113	5.0	21	29			
習志野市	67	12	10	2	3	5	2	8	47	6.9	8	11			
八千代市	59	6	5	3	2	-	1	9	44	3.0	9	12			
鎌ヶ谷市	34	6	6	2	3	1	-	6	22	5.5	4	6			

(4) 新登録患者数 (年齢階級別)

表 1 - (4) 新登録患者数 (年齢階級別) (単位：人)

年 市町村	区分	総 数	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90
			9 歳	19 歳	29 歳	39 歳	49 歳	59 歳	69 歳	79 歳	89 歳	90 歳 以上
平成 29 年		77	-	-	3	6	13	8	12	12	17	6
平成 30 年		65	1	3	8	3	8	7	9	12	11	3
令和元年		43	-	1	6	7	6	5	5	8	5	-
習志野市		20	-	-	5	4	2	1	1	4	3	-
八千代市		13	-	-	1	2	2	3	3	2	-	-
鎌ヶ谷市		10	-	1	-	1	2	1	1	2	2	-

(5) 年末時登録者数 (年齢階級別)

表 1 - (5) 年末時登録者数 (年齢階級別) (単位：人)

年 市町村	区分	総 数	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90
			9 歳	19 歳	29 歳	39 歳	49 歳	59 歳	69 歳	79 歳	89 歳	90 歳 以上
平成 29 年		198	-	-	20	21	27	20	25	35	40	10
平成 30 年		233	1	1	24	20	35	24	27	40	44	17
令和元年		160	1	1	19	15	26	22	23	25	23	5
習志野市		67	-	-	12	4	8	7	13	9	11	3
八千代市		59	1	-	4	8	14	10	5	11	5	1
鎌ヶ谷市		34	-	1	3	3	4	5	5	5	7	1

(6) 患者面接実施状況

表1-(6) 患者面接実施状況

年		区分	人数	DOTS 内容 (延件数)											
				登録時喀痰塗抹陽性						喀痰塗抹陰性			潜在性結核		
				入院時			退院後			訪問面接	所内面接	電話・その他	訪問面接	所内面接	電話・その他
				訪問回数	左の内訳		訪問面接	所内面接	電話・その他						
初回	期間内	退院前													
平成 29 年	保健師	4	132	29	97	6	125	59	422	51	139	348	13	33	130
	DOTS 支援員	4	-	-	-	-	43	5	43	10	1	118	-	4	55
平成 30 年	保健師	4	109	26	79	4	252	51	263	40	123	229	4	18	79
	DOTS 支援員	3	-	-	-	-	20	-	25	-	-	72	-	-	26
令和元年	保健師	3	84	17	64	3	81	42	153	66	81	221	35	46	141
	DOTS 支援員	3	-	-	-	-	34	-	22	4	-	62	-	-	45
令和元年 患者数 (人)			10						33			37			

(7) DOTS 実施状況

表1-(7) DOTS 実施状況

(単位:人)

年		区分	全 結 核 患 者			潜在性結核 感 染 症
				肺 結 核 患 者 (再 掲)		
				肺 結 核 患 者	肺 結 核 喀 痰 塗 抹 陽 性 患 者 (再 掲)	
平成 29 年	実施者数	66	54	27	32	
	患者数※	66	54	27	32	
平成 30 年	実施者数	68	45	23	15	
	患者数※	68	45	23	15	
令和元年	実施者数	43	33	10	37	
	患者数※	43	33	10	37	

※前年の新登録患者数 (転入者を含み, 治療開始1カ月未満に死亡した者及び転出者を除く)。

※平成27年1月7日付け健感発0107第1号厚生労働省健康局結核感染症課長通知「「結核に関する特定感染症予防指針」に掲げる具体的な目標の計算方法について (情報提供)」を参照

(8) 結核接触者健康診断実施状況

ア 家族健診実施状況

表 1 - (8) - ア 家族健診実施状況

区分 年	対象者数 (実人数) ①	実施者数 (実人数) ②	実施率 ② / ① (%)	実施件数 (延件数)	実施項目 (延件数)					結 果 (実人数)				
					I G R A ※	ツ 反	エ ッ ク ス 線	喀痰検査		異常なし	発病のおそれ	潜在性結核感染症	要医療 ③	要医療率 ③/② (%)
								塗 抹	培 養					
平成 29 年	58	57	98.3	82	60	2	20	-	-	50	2	5	0	0.0
平成 30 年	56	52	92.9	79	56	5	16	1	1	47	-	1	4	7.7
令和元年	56	52	92.9	106	60	5	41	-	-	48	1	3	-	0.0
保健所	/			37	20	-	17	-	-	/				
委託分				67	40	5	22	-	-					
その他				2	-	-	2	-	-					

※保健所採血等による実施は保健所に，受診券による実施は委託分に計上

イ 接触者健診実施状況

表 1 - (8) - イ 接触者健診実施状況

区分 年	対象者数 (実人数) ①	実施者数 (実人数) ②	実施率 ② / ① (%)	実施件数 (延件数)	実施項目 (延件数)					結 果 (実人数)				
					I G R A ※	ツ 反	エ ッ ク ス 線	喀痰検査		異常なし	発病のおそれ	潜在性結核感染症	要医療 ③	要医療率 ③/② (%)
								塗 抹	培 養					
平成 29 年	212	206	97.2	271	208	3	60	-	-	173	28	4	1	0.5
平成 30 年	255	243	95.3	319	252	6	61	-	-	232	5	5	1	0.4
令和元年	378	361	95.5	436	270	-	166	-	-	343	9	9	-	0.0
保健所	/			338	252	-	86	-	-	/				
委託分				97	18	-	79	-	-					
その他				1	-	-	1	-	-					

※保健所採血等による実施は保健所に，受診券による実施は委託分に計上

(9) 管理健診実施状況

表1-(9) 管理健診実施状況

区分 年	対象者数 (実人数) ①	実施者数 (実人数) ②	実施率 ②/① (%)	実施件数 (延件数)	エックス線撮影	喀痰検査		結果(実人数)			
						塗抹	培養	観察不要	経過観察	要医療 ③	要医療率 ③/② (%)
平成29年	210	187	89.0	341	277	32	32	89	96	2	1.1
平成30年	196	174	88.8	397	265	66	66	63	111	-	-
令和元年	173	152	87.9	293	221	36	36	65	87	-	-
保健所				11	11	-	-				
委託分				272	200	36	36				
その他				10	10	-	-				

(10) 結核医療費公費負担診査状況

表1-(10)-ア 通院患者に対する結核医療費公費負担診査状況(37条の2) (単位:件)

区分 年	総数			被用者保険						国民健康保険			後期高齢者			生活保護法			その他		
				本人			家族			国民健康保険			後期高齢者			生活保護法			その他		
	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格
平成29年	157	157	-	52	52	-	7	7	-	37	37	-	49	49	-	10	10	-	2	2	-
平成30年	137	137	-	44	44	-	14	14	-	33	33	-	36	36	-	10	10	-	-	-	-
令和元年	131	126	5	47	45	2	13	13	-	28	27	1	34	32	2	9	9	-	-	-	-

表1-(10)-イ 入院患者に対する結核医療費公費負担状況(37条) (単位:件)

区分 年	総数			被用者保険			国民健康保険			後期高齢者			生活保護法			その他					
				本人			家族			国民健康保険			後期高齢者			生活保護法			その他		
平成29年	32			6			-			7			13			5			1		
平成30年	26			6			2			7			8			3			-		
令和元年	12			2			1			2			6			1			-		

※本表は実人数で計上

(11) 就業制限通知及び入院勧告並びに入院措置数

表1-(11)-ア 就業制限通知数 (単位:件)

区分 年	総数
平成29年	33
平成30年	27
令和元年	16

表1-(11)-イ 入院勧告数

(単位:件)

区分 年	応急入院勧告数 (19条第1項)	入院勧告数 (20条第1項)	入院延長勧告通知数 (20条第4項)
平成29年	33	33	60
平成30年	26	26	54
令和元年	12	12	30

表1-(11)-ウ 入院措置数

(単位:件)

区分 年	入院措置数
平成29年	-
平成30年	-
令和元年	1

(12) ツベルクリン反応検査・IGRA検査実施状況

表1-(12)-ア ツベルクリン反応検査実施状況

(単位:件)

年	ツ反検査数 (延件数)		発赤径			被検者の年齢		
	保健所	委託分	陰性	30mm 未満	30mm 以上	未就学児	小学生	その他
平成29年	-	5	5	-	-	5	-	-
平成30年	-	11	2	9	-	11	-	-
令和元年	-	5	2	3	-	2	1	-

表1-(12)-イ IGRA検査実施状況

(単位:件)

年	IGRA検査数 (延件数)		結 果			
	保健所	委託分	陰性	判定 保留	陽性	判定 不可
平成29年	212	56	228	18	21	1
平成30年	167	141	276	13	18	1
令和元年	272	58	288	2	24	16

(13) エックス線検査実施状況

表1-(13) エックス線検査実施状況

(単位:件)

年	総 数		接 触 者		管 理	
	保健所	委託分	保健所	委託分	保健所	委託分
平成29年	70	271	59	20	11	251
平成30年	48	272	35	41	13	231
令和元年	114	301	103	101	11	200

(14) 定期結核健康診断実施報告状況

表1 - (14) 定期結核健康診断実施報告状況

(単位：人)

年 区分	項目	対象者数 ①	健診者数 ②	健診率 ②/① (%)	間 接 撮 影 件 数	直 接 撮 影 件 数	喀 痰 検 査 件 数	発 病 の お そ れ が あ る 者 の 数	患 者 発 見 数 ③	患 者 発 見 率 ③/② (%)
	平成29年度		156,026	59,145	37.9	20,886	38,203	45	-	-
平成30年度		157,810	60,621	38.4	19,204	41,500	94	5	1	0.0016
令和元年度		159,844	60,596	37.9	20,251	40,345	38	6	5	0.0083
内 訳	学校長 (高校以上の生徒・学生)	17,723	17,016	96.0	14,401	2,615	-	-	-	-
	施設 所 者 (65歳以上)	2,126	2,018	94.9	483	1,535	1	1	1	0.050
	その他施設 入所者	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	事業者	18,777	17,849	95.1	5,367	12,482	37	4	3	0.017
	市町村長	121,218	23,713	19.6	-	23,713	-	1	1	0.0042

(15) 結核予防啓発活動実施状況

表1 - (15) 結核予防啓発活動実施状況

実施日	場 所	形 態	テ ー マ	実施 対象	参加人数 (人)
令和元年 7月11日	管内 大学	衛生教育	結核の啓発と接触者健康診断について	107	87
令和元年 8月22日	管内 事業所	衛生教育	感染症の発生状況と予防について	15	15
令和元年 6月2日	管内 公民館	衛生教育	結核の啓発と接触者健康診断について	9	9
令和元年 5月21日 6月18日	管内 公民館	衛生教育	結核の啓発と接触者健康診断について	16	16
令和2年 1月14日	管内 公民館	衛生教育	結核の啓発と接触者健康診断について	12	12

2 感染症予防事業

(1) 1類感染症発生状況

表2- (1) 1類感染症発生状況 (発生届受理数) (単位:人)

年	疾患名	人数	市町村
令和元年	—	—	—

(2) 2類感染症発生状況 (結核は除く)

表2- (2) 2類感染症発生状況 (発生届受理数) 単位:人)

年	疾患名	人数	市町村
令和元年	—	—	—

(3) 3類感染症発生状況

表2- (3) 3類感染症発生状況 (発生届受理数) (単位:人)

病類 年・市町村	総数	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス
平成29年	19	-	-	19	-	-
平成30年	8	-	1	7	-	-
令和元年	5	-	-	5	-	-
習志野市	1	-	-	1	-	-
八千代市	3	-	-	3	-	-
鎌ヶ谷市	-	-	-	-	-	-
その他 (管外)	1	-	-	1	-	-

(4) 4類感染症発生状況

表2-(4) 4類感染症病発生状況(発生届受理数)

(単位:人)

疾患名		平成29年	平成30年	令和元年
1	E型肝炎	-	-	-
2	ウエストナイル熱	-	-	-
3	A型肝炎	-	4	2
4	エキノкокクス症	-	-	-
5	黄熱	-	-	-
6	オウム病	-	-	-
7	オムスク出血熱	-	-	-
8	回帰熱	-	-	-
9	キャサヌル森林病	-	-	-
10	Q熱	-	-	-
11	狂犬病	-	-	-
12	コクシジオイデス症	-	-	-
13	サル痘	-	-	-
14	ジカウイルス感染症	-	-	-
15	重症熱性血小板減少症候群(病原体がフレボウイルス属SFTSウイルスであるものに限る。)	-	-	-
16	腎症候性出血熱	-	-	-
17	西部ウマ脳炎	-	-	-
18	ダニ媒介脳炎	-	-	-
19	炭疽	-	-	-
20	チンググニア熱	-	-	-
21	つつが虫病	-	-	-
22	デング熱	2	-	1
23	東部ウマ脳炎	-	-	-
24	鳥インフルエンザ(鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9)を除く)	-	-	-
25	ニパウイルス感染症	-	-	-
26	日本紅斑熱	-	-	-
27	日本脳炎	-	-	-
28	ハンタウイルス肺症候群	-	-	-
29	Bウイルス病	-	-	-
30	鼻疽	-	-	-
31	ブルセラ症	-	-	-
32	ベネズエラウマ脳炎	-	-	-
33	ヘンドラウイルス感染症	-	-	-
34	発しんチフス	-	-	-
35	ボツリヌス症	-	-	-
36	マラリア	-	-	-
37	野兎病	-	-	-
38	ライム病	-	-	-
39	リッサウイルス感染症	-	-	-
40	リフトバレー熱	-	-	-
41	類鼻疽	-	-	-
42	レジオネラ症	4	6	11
43	レプトスピラ症	-	-	-
44	ロッキー山紅斑熱	-	-	-

※14の疾患は平成28年2月から届出の対象となった。

(5) 5類感染症発生状況

ア 感染症発生動向調査事業に基づく全数把握対象感染症

表2-(5)-ア 5類感染症発生状況(発生病受理数)

(単位:人)

	疾患名	平成29年	平成30年	令和元年
1	アメーバ赤痢	4	3	1
2	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)	3	-	1
3	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	5	6	9
4	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く。)	-	1	-
5	急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く)	16	6	8
6	クリプトスポリジウム症	-	-	-
7	クロイツフェルト・ヤコブ病	-	2	2
8	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	2	3
9	後天性免疫不全症候群	1	2	-
10	ジアルジア症	-	-	-
11	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	-	1
12	侵襲性髄膜炎菌感染症	-	-	-
13	侵襲性肺炎球菌感染症	2	7	3
14	水痘(入院例に限る。)	-	1	1
15	先天性風しん症候群	-	-	-
16	梅毒	14	13	16
17	播種性クリプトコックス症	-	-	-
18	破傷風	-	-	3
19	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-
20	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	1	-
21	百日咳	-	17	31
22	風しん	2	40	21
23	麻しん	-	-	5
24	薬剤耐性アシネトバクター感染症	-	-	1

※ 4の疾患は平成30年5月から届出の対象となった。

※ 21の疾患は平成30年1月から届出の対象となった。

イ 感染症発生動向調査事業に基づく定点報告状況

(ア) 患者定点

a 患者定点医療機関

表2-(5)-イ-(ア)-a 患者定点医療機関数 (単位：箇所)

インフルエンザ	小児科	眼科	性感染症	基幹	疑似症
16	10	3	3	1	-

b 定点把握対象疾患

表2-(5)-イ-(ア)-b 定点把握対象疾患状況 (単位：人)

	疾患名	平成29年	平成30年	令和元年
1	インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く)	6,280	6,831	6,495
2	RSウイルス感染症	279	270	284
3	咽頭結膜熱	392	280	246
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1,231	1,201	1,095
5	感染性胃腸炎	1,982	1,884	2,072
6	水痘	220	212	282
7	手足口病	1,397	373	2,012
8	伝染性紅斑	21	337	369
9	突発性発しん	203	230	214
10	ヘルパンギーナ	724	662	501
11	流行性耳下腺炎	213	69	71
12	急性出血性結膜炎	2	1	1
13	流行性角結膜炎	262	203	141
14	性器クラミジア感染症	67	66	66
15	性器ヘルペスウイルス感染症	2	3	4
16	尖圭コンジローマ	1	1	2
17	淋菌感染症	10	18	21
18	感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)	-	-	-
19	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-
20	細菌性髄膜炎(髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。)	-	-	-
21	マイコプラズマ肺炎	-	-	-
22	無菌性髄膜炎	-	-	-
23	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	25	10	14
24	メシチリン耐性黄色ブドウ菌感染症	38	34	46
25	薬剤耐性緑膿菌感染症	-	-	-

(イ) 病原体定点

表 2 - (5) - イ - (イ) 病原体定点医療機関及び検体提供数

区 分	インフルエン	小 児 科	眼 科	基 幹
医療機関数 (箇所)	2	2	1	1
検体提供数	8	32	-	-

(6) その他

表 2 - (6) インフルエンザ様疾患届出状況 (単位：件)

年度 区分	届 出 施設数	届 出 患者数	措 置			
			学 級 閉鎖数	学 年 閉鎖数	休校数	その他
平成 29 年度	81	3,089	324	20	-	-
平成 30 年度	68	1,887	421	36	5	-
令和元年度	51	1,233	143	6	-	-
幼 稚 園	7	66	9	1	-	-
小 学 校	36	975	113	3	-	-
中 学 校	8	192	21	3	-	-
高 等 学 校	-	-	-	-	-	-
そ の 他	-	-	-	-	-	-

(7) 感染症発生に伴う健康調査及び検査実施状況

ア 1類感染症

表 2 - (7) - ア 1類感染症発生に伴う健康調査及び検査実施状況

年度	病類	疾 患 名	調 査 (人)	検 査 (件)
令和元年度		-	-	-

イ 2類感染症

表 2 - (7) - イ 2類感染症発生に伴う健康調査及び検査実施状況 (結核は除く)

年度	病類	疾 患 名	調 査 (人)	検 査 (件)
令和元年度		-	-	-

ウ 3類感染症

表2-(7)-ウ 3類感染症発生に伴う患者健康調査及び検便実施状況

(単位：調査(人)，検便(件))

病類 年度	総数		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		菌陽性者数
	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便	
平成29年度	54	81	-	-	-	-	54	81	-	-	-	-	24
平成30年度	20	20	-	-	3	4	17	16	-	-	-	-	-
令和元年度	8	24	-	-	2	2	6	22	-	-	-	-	5

エ 4類感染症

表2-(7)-エ 4類感染症患者健康調査状況

区分	疾患名	調査(人)
令和元年度	A型肝炎	3
	E型肝炎	1
	レジオネラ症	11

オ 5類感染症

表2-(7)-オ 5類感染症患者健康調査状況

区分	疾患名	調査(人)
令和元年度	麻疹(疑い含む)	50
	風疹(疑い含む)	8
	感染性胃腸炎(疑い含む)	4
	インフルエンザ	11
	急性脳炎	1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	8

カ 指定感染症

表2-(7)-カ 指定感染症健康調査状況

区分	疾患名	調査(人)
令和2年度	新型コロナウイルス	2

(8) 管外での感染症発生（疑いを含む）に伴う調査状況及び検便実施状況

表2-(8) 管外での感染症発生（疑いを含む）に伴う調査数及び検便実施数

(単位：調査(人))

区分 年度	総 数	管外での感染症 発生に伴う調査数 (検疫通報除く)	検疫通報に伴う 接触者及び同行者 調査数	検便実施者数 (件)	検 出 菌 (件)			
					コレ ラ	赤 痢	○ 157	そ の 他
平成29年度	8	8	-	12	-	-	-	-
平成30年度	21	21	-	1	-	-	-	-
令和元年度	71	71	2	73	-	-	-	5

(9) 衛生研究所・検査課への検査依頼数

表2-(9) 衛生研究所・検査課への検査依頼数 (単位：件)

区分	疾 患 名	結 果		計
		陽 性	陰 性	
令和元年度	新型コロナウイルス	3	25	28
	細菌性赤痢	-	2	2
	腸管出血性大腸菌感染症	6	99	105
	麻疹	4	46	50
	急性脳炎	1	1	1
	インフルエンザ	-	-	11
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	8	-	8
	レジオネラ症	-	-	11
	A型肝炎	1	2	3
	風しん	2	6	8

(10) 就業制限・入院勧告通知数（結核を除く）

表2-(10)-ア 就業制限通知数

(単位：件)

区分 年度	疾 患 名			計
	腸管出血性大腸 菌感染症	細菌性赤痢	腸チフス	
平成29年度	17	-	-	17
平成30年度	7	1	0	8
令和元年度	5	-	-	5

表 2 - (1 0) - イ 入院勧告通知数

(単位：件)

区分 年度	疾 患 名	計
	新型コロナウイルス	
平成 29 年度	-	-
平成 30 年度	-	-
令和元年度	2	2

(1 1) 感染症予防啓発活動実施状況

表 2 - (1 1) 感染症予防啓発活動実施状況

実施日	場 所	テ ー マ	実施対象	参加人数 (人)
令和元年 8月29,30日	習志野健康福祉 センター	学童向け手洗い講習会	学童クラブ 児童	96
令和元年 10月10日	習志野健康福祉 センター	小学校・保育施設等向け感染 症研修会	管内施設、 市職員	42
令和元年 10月18日	習志野健康福祉 センター	高齢者・障害者施設向け感 染症研修会	管内施設、 市職員	46
令和2年 2月17日	習志野市 消防本部	消防職員向け感染症予防研 修会	管内消防 本部職員	65

(1 2) 感染症健康危機管理事業

表 2 - (1 2) - ア 地域健康危機管理推進会議開催状況

開催日	参加人数 (人)	主な内容
令和元年 12月19日	62	・習志野保健所管内の麻しん対策 ～今年度の発生状況から～ ・麻しん、風疹を含めた予防接種と感染症に関する最新トピックス

表 2 - (1 2) - イ 新型インフルエンザ等訓練、その他の会議

開催日	参加人数 (人)	主な内容
令和元年5月 16,17日	60	健康危機管理感染症所内研修会 所内の職員及び管内市の関係職員、消防隊員を対象に防護服着脱訓練、N95 マスクフィットテスト実施
令和元年 11月14日	59	新型インフルエンザ疑い患者移送訓練 習志野健康福祉センター及び船橋市保健所、船橋中央病院合同で患者移送訓練を実施。保健所から病院への移送、病院への引継ぎ、検体の受け渡し方法等を確認

3 エイズ対策事業

(1) エイズ予防啓発活動実施状況

ア 講演会・講習会等開催状況

表3-(1)-ア 講演会・講習会等実施状況実施日

	場 所	活動内容	テ ー マ	対 象	参加人数 (人)
令和元年 12月3日	習志野健康福祉センター	講演会	生きるための 心の教育＝性 教育	学校教育委員会、養護教諭、 保健師	21

イ HIV検査普及週間・世界エイズデー等のイベント実施状況

表3-(1)-イ HIV検査普及週間・世界エイズデー等のイベント実施状況

実 施 日	主 な 内 容
令和元年 11月28日	JR津田沼駅南口ペDESTリアンデッキ及び連絡通路にて、薬物乱用防止啓発活動と合同で街頭キャンペーンを実施。エイズ・性感染症に関するリーフレット及びキャンペーングッズを配付し、知識の普及と予防啓発実施（1,000部配布）

(2) エイズ相談受付状況

表3-(2) エイズ相談受付状況 (単位：件)

年度	性別	相談方法	男	女	小計	合計
平成29年度	電話相談		12	10	22	305
	来所相談		190	88	278	
	その他		5	-	5	
平成30年度	電話相談		10	5	15	298
	来所相談		178	105	283	
	その他		-	-	-	
令和元年度	電話相談		3	2	5	288
	来所相談		189	94	283	
	その他		-	-	-	

(3) HIV・性感染症・肝炎検査受付状況

表3-(3)-ア HIV検査受付状況 (単位:件)

年度 年齢階級		性別		合計	外国籍 者数(再)	確認検査 件数
		男	女			
平成29年度		232	98	330	1	3
平成30年度		177	106	283	5	3
令和元年度		187	93	280	7	1
年 齢 階 級	～19歳	7	10	17	1	-
	20歳～29歳	66	39	105	3	1
	30歳～39歳	51	24	75	3	-
	40歳～49歳	33	11	44	-	-
	50歳～59歳	19	7	26	-	-
	60歳～	11	2	13	-	-
	不明	-	-	-	-	-

表3-(3)-イ 性感染症・肝炎検査受付状況 (単位:件)

年度	検査 性別	クラミジア検査			梅毒検査			肝炎検査					
		計	男	女	計	男	女	C型肝炎検査			B型肝炎検査		
								計	男	女	計	男	女
平成29年度		303	218	85	330	230	100	333	230	103	334	230	104
平成30年度		254	165	89	279	174	105	277	171	106	277	171	106
令和元年度		260	177	83	275	185	90	278	185	93	279	185	94

※肝炎検査は肝炎対策事業として実施

4 原爆被爆者対策事業

被爆者の健康増進を図るため、被爆者健康診断及び健康相談を年2回実施し、健康の保持増進を図った。

(1) 被爆者手帳交付状況

表4- (1) 被爆者手帳交付状況 (単位：件)

年度 市町村	区分	前年度末 手帳交付数	新規	転入	転出	死亡	当該年度末 手帳交付数
平成29年		191(0)	-	2	1	10	182(0)
平成30年		182(0)	1	5	1	11	176(0)
令和元年度		176(0)	0	5	0	8	173(0)
習志野市		62(0)	0	1	0	0	63(0)
八千代市		67(0)	0	4	0	4	67(0)
鎌ヶ谷市		47(0)	0	0	0	2	45(0)

(注) () は被爆者健康診断受診証交付数で総数に含まず。

(2) 被爆者健康診断実施状況

表4- (2) 被爆者健康診断実施状況 (単位：人)

年度	施設		対象者数	受診者数	受診率(%)	要精検者数
平成29年度	保健所	前期	188	19	10.1	0
		後期	185	15	8.1	0
	委託医療機関		-	47	-	21
平成30年度	保健所	前期	182	16	8.8	4
		後期	175	10	5.7	5
	委託医療機関		-	42	-	16
令和元年度	保健所	前期	175	15	8.6	11
		後期	175	16	9.1	12
	委託医療機関		-	57	-	15

(3) 原爆援護法に基づく各種手当の支給状況

表4-(3) 原爆援護法に基づく各種手当の支給状況 (単位：件)

区分 \ 年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
総 数	160	158	150
医療特別手当	4	5	4
特別手当	3	2	4
原子爆弾小頭症手当	-	-	-
健康管理手当	142	136	133
保健手当	3	4	3
介護手当	-	-	-
葬 祭 料	8	11	6
健康手当	149	147	144

(注) 健康手当は、県単独事業であり総数に含まず。